

環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	11	事例No	6	依頼者	豊橋市立南稜中学校	実施場所	南稜中学校体育館
実施対象	豊橋市立南稜中学校3年生（7クラス 266名：全クラス合同で実施）						
実施日時	令和元年9月9日（月）14時40分～15時30分（50分：6時限目）						
テーマ	梅田川の歴史と特性						

●依頼内容

梅田川の水質や干潟に関連した話のできる講師を紹介してほしい。授業の内容は、校歌に登場する二級河川「梅田川」についての基本的な情報（歴史や流域、校区における役割、多くの水生生物が住んでいること）を知るとともに、現在の問題点（人口増加に伴う水質汚染、多量のごみ、マイクロプラスチック問題、外来種問題）などについて考えるきっかけとしたい。

●講師：（株）日水コン 清水康生氏

水環境のコンサルタントとして、各種行政機関の水質調査受託や学校への出前講座の実績がある。また、環境省の水生生物調査や水環境健全性指標関係事業などにも長年関わってきた技術と実績がある。（株）日水コンは建設コンサルタントとして、全国各地で企業の社会貢献活動（CSR）に積極的に取り組んでおり、こうした背景から講師として適任と判断した。

●授業の内容

座学	梅田川の歴史と流域の特性	愛知県の河川計画等の既存資料をもとに、梅田川に関する概況として、流域の歴史、浸水状況等の説明が行われた。また、梅田川の特性やその周辺の地形とともに、そのなかでの南稜中学校の位置づけについての説明があった。	10分
	流域の多様な生物や外来種及び梅田川の水質	梅田川河口付近の干潟に生息する貴重種等と、梅田川の下流域、中流域、上流域それぞれの生態系の特性等についての説明があった。また、梅田川の水質に関して、BODを指標としてきれいさ等の説明がされた。	20分
	マイクロプラスチック、水辺のすこやかさ指標	河川及び海岸のごみは生活系のごみが多くを占めていることや現在話題のマイクロプラスチックの問題等の説明があった。また、講師が策定に関わった環境省の水辺の診断方法に関して、河川の健全性を示す「すこやかさ指標」についての説明があった。	20分

●授業の様子

授業は、体育館で3年生全クラスを対象に実施された。講師を依頼してから約1か月という短い準備期間にもかかわらず、流域の概要から生態系やごみ問題、さらには水質の問題等、広範囲にわたる環境問題の講義となった。また、梅田川流域における南稜中学校の位置づけを明確にとらえながら講座がすすめられ、生徒たちにとって梅田川の様々な特徴が興味深いものとして捉えられたと考えられる。生徒たちは講義内容をメモしながら、真剣なまなざしで授業を聞いていた。愛知県の河川計画や豊橋市の下水道計画を踏まえた生活排水の特性と梅田川の水質特性、ごみ問題等いろいろなキーワードがちりばめられ、今後の学習のきっかけとなった。

体育館は扇風機で暑さ対策がされた



流域の生物からごみの問題まで幅広い内容の授業

